

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載  
 【部門区分】第 1 部門第 2 区分  
 【発行日】令和 2 年 8 月 20 日 (2020.8.20)

【公開番号】特開 2020-96707 (P2020-96707A)  
 【公開日】令和 2 年 6 月 25 日 (2020.6.25)  
 【年通号数】公開・登録公報 2020-025  
 【出願番号】特願 2018-236042 (P2018-236042)  
 【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 2 0

【手続補正書】

【提出日】令和 2 年 7 月 3 日 (2020.7.3)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

遊技を行い、遊技者にとって有利な有利状態に制御可能な遊技機であって、  
 前記有利状態に制御されるか否かを示唆する特定演出を実行可能な特定演出実行手段と

、  
 前記特定演出の実行中に特定画像と該特定画像とは異なる所定画像とを表示可能な画像表示手段と、を備え、

前記特定演出実行手段は、少なくとも第 1 特定演出および第 2 特定演出を含む複数種類の前記特定演出を実行可能であり、

前記画像表示手段は、

\_\_前記特定画像として、少なくとも、前記第 1 特定演出の実行中に第 1 特定画像を表示可能であるとともに前記第 2 特定演出の実行中に第 2 特定画像を表示可能であり、

\_\_通常態様による前記特定画像と、該通常態様よりも前記有利状態に制御される期待度が高いことを示唆する特別態様による前記特定画像と、\_\_を表示可能であり、

前記所定画像は、前記有利状態に制御される期待度に関連しない表示態様であり、

前記画像表示手段は、

\_\_前記特別態様による前記特定画像を表示する場合に第 1 特殊演出要素を付加して前記特定画像を表示可能であり、

\_\_前記通常態様による前記特定画像を表示する場合に前記第 1 特殊演出要素とは異なる第 2 特殊演出要素を付加して前記特定画像を表示可能であり、

前記第 1 特定画像および前記第 2 特定画像として共通態様の画像を表示することが可能であり、該共通態様の画像を表示する場合に、共通の前記第 1 特殊演出要素を付加して前記第 1 特定画像および前記第 2 特定画像を表示可能である

ことを特徴とする遊技機。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0011

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0011】

(手段 A) 本発明による遊技機は、遊技を行い、遊技者にとって有利な有利状態に制御可能な遊技機であって、有利状態に制御されるか否かを示唆する特定演出を実行可能な特定演出実行手段と、特定演出の実行中に特定画像と該特定画像とは異なる所定画像とを表示可能な画像表示手段と、を備え、特定演出実行手段は、少なくとも第 1 特定演出および第 2 特定演出を含む複数種類の特定演出を実行可能であり、画像表示手段は、特定画像として、少なくとも、第 1 特定演出の実行中に第 1 特定画像を表示可能であるとともに第 2 特定演出の実行中に第 2 特定画像を表示可能であり、通常態様による特定画像と、該通常態様よりも有利状態に制御される期待度が高いことを示唆する特別態様による特定画像と、を表示可能であり、所定画像は、有利状態に制御される期待度に関連しない表示態様であり、画像表示手段は、特別態様による特定画像を表示する場合に第 1 特殊演出要素を付加して特定画像を表示可能であり、通常態様による特定画像を表示する場合に第 1 特殊演出要素とは異なる第 2 特殊演出要素を付加して特定画像を表示可能であり、第 1 特定画像および第 2 特定画像として共通態様の画像を表示することが可能であり、該共通態様の画像を表示する場合に、共通の第 1 特殊演出要素を付加して第 1 特定画像および第 2 特定画像を表示可能であることを特徴とする。そのような構成によれば、特定画像が予告画像であることを遊技者に認識させることができ、特定画像に遊技者を注目させることができる。

(手段 1) 他の遊技機は、遊技を行い、遊技者にとって有利な有利状態（例えば、大当たり遊技状態）に制御可能な遊技機であって、有利状態に制御されるか否かを示唆する特定演出（例えば、スーパーリーチ A ~ C）を実行可能な特定演出実行手段（例えば、演出制御用 CPU 120 におけるステップ 097 IWS 104 でスーパーリーチ A ~ C を含むプロセステーブルを選択してステップ 097 IWS 106, S305 を実行する部分）と、特定演出の実行中に特定画像（例えば、チャンスアップ画像）と該特定画像とは異なる所定画像（例えば、キャラクタ画像 097 IW11、キャラクタ画像 097 IW21）とを表示可能な画像表示手段（例えば、演出制御用 CPU 120 におけるステップ 097 IWS 104 でスーパーリーチ A ~ C およびチャンスアップ演出を含むプロセステーブルを選択してステップ 097 IWS 106, S305 を実行する部分）とを備え、特定演出実行手段は、少なくとも第 1 特定演出（例えば、スーパーリーチ A）および第 2 特定演出（例えば、スーパーリーチ B）を含む複数種類の特定演出（例えば、スーパーリーチ A ~ C）を実行可能であり、画像表示手段は、特定画像として、少なくとも、第 1 特定演出の実行中に第 1 特定画像（例えば、画像 A1、画像 A2、画像 A3、画像 A4）を表示可能であるとともに第 2 特定演出の実行中に第 2 特定画像（例えば、画像 B1、画像 B2、画像 B3）を表示可能であり、通常態様（例えば、白色）による特定画像と、該通常態様よりも有利状態に制御される期待度が高いことを示唆する特別態様（例えば、青色、緑色、赤色、虹色）による特定画像とを表示可能であり、所定画像は、有利状態に制御される期待度に関連しない表示態様であり（例えば、図 9 - 9 ~ 図 9 - 16 に示すように、キャラクタ画像 097 IW11 およびキャラクタ画像 097 IW21 の表示態様は変化しない）、画像表示手段は、特別態様による特定画像を表示する場合に第 1 特殊演出要素（例えば、青色、緑色、赤色、虹色の表示色のエフェクト画像）を付加して特定画像を表示可能であり、通常態様による特定画像を表示する場合に第 1 特殊演出要素とは異なる第 2 特殊演出要素（例えば、白色の表示色のエフェクト画像）を付加して特定画像を表示可能である（図 9 - 9 ~ 図 9 - 16 参照）ことを特徴とする。そのような構成によれば、特定画像が予告画像であることを遊技者に認識させることができ、特定画像に遊技者を注目させることができる。